

令和3年度 すくすくウォッチの結果について

令和3年(2021年)11月4日
枚方市立藤阪小学校

調査の目的等

1. 調査目的

○子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。

2. 調査実施期間及び調査の対象

令和3年(2021年)5月26日(水)～6月2日(水) 小学校第5・6学年の児童

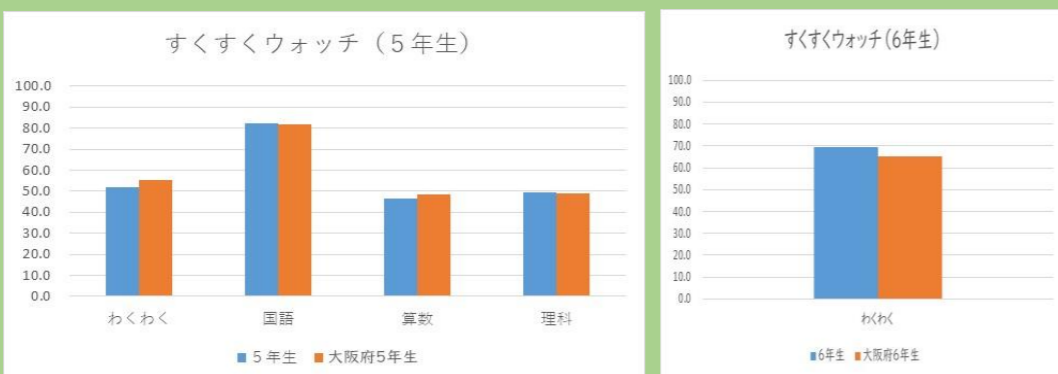
3. 調査内容

(1) 教科に関する調査

5年生・・・国語・算数・理科・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

6年生・・・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

令和3年度すくすくウォッチの結果



全体的な傾向について

※わくわく問題について

教科横断型問題、文章や図表、グラフなどを読んで自分の考えを書く問題です。

答えは記号を選んだり、文章を書いたり、図をぬったり、絵をかいたりします。

答えが1つでないものもあります。

5年生わくわく問題:大阪府の平均正答率をわずかに下回っていますがほぼ同等です。

6年生わくわく問題:大阪府の平均正答率をわずかに上回っていますがほぼ同等です。

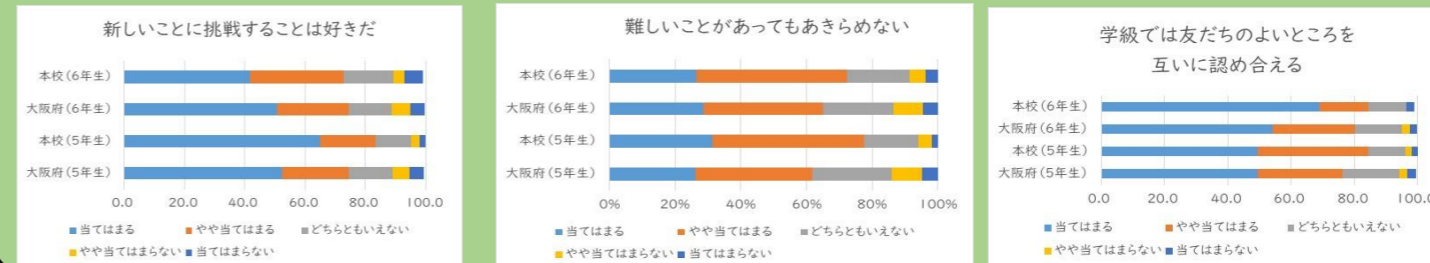
5年生国語:大阪府の平均正答率をわずかに上回っていますがほぼ同等です。

5年生算数:大阪府の平均正答率をわずかに下回っていますがほぼ同等です。

5年生理科:大阪府の平均正答率をわずかに上回っていますがほぼ同等です。

児童アンケートの結果

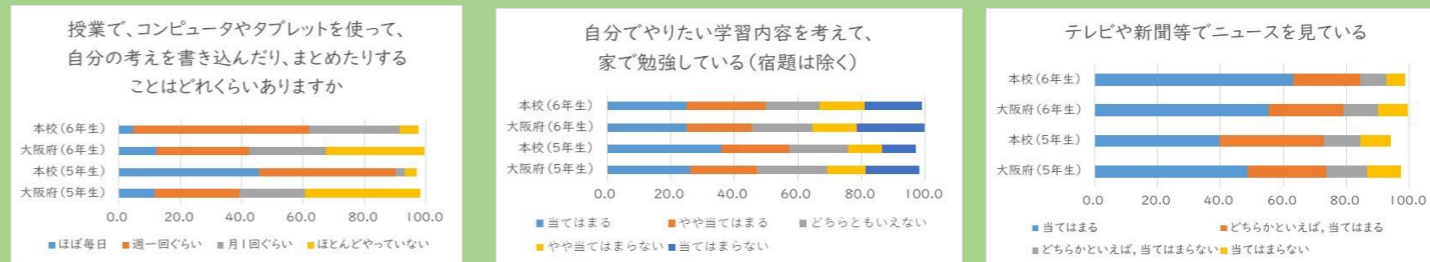
目標に向かって頑張る力・好奇心



学校・授業での様子



授業・家庭での様子



今年度の結果及び今後の取り組みについて

アンケートの中では、「挑戦」「あきらめない」とことについて、大阪府の平均とほぼ同じ、または上回っている結果が出ています。このことは、今回の設問ごとの正答率からも感じる事が出来ます。

学校・授業での様子の結果から、教室で学んでいることについての意識を強く持って取り組んでいること、学んだことを学校内に留まらず、様々な場面で活用学校外での生活においても意識しています。

ICTの活用については、活用している頻度が多いとの結果が出ています。今後、更にICTの活用に尽くしていきます。

課題点としては、「資料等から読み取った情報等を理解し、整理して相手に伝えられるようにように表現する。」が挙げられます。

今後の授業において、「Hirakata授業スタンダード」に基づき、「主体的・対話的で深い学び」「思考力・表現力・判断力等の育成」に向けた授業改善・研究を進めていきます。